

号外!



世直し隊 通信 糾弾!

ローソン経営者、虚偽告訴!

客にもう二度と来るなと!暴言!

モラハラ経営者の事態



2020年5月26日未明、ローソン(東淀川東中島二丁目店)のオーナーは、お客(山田貴章さん/仮名)が「店内で大きな声を出して、他の客に迷惑をかけた」と東淀川警察(大阪市)に迷惑行為として、虚偽告訴をしたようだ。しかしながら、店員の皆さんの対応へのクレームが原因だったと、受理されず、肩を落とすとして帰っていったそう。山田さんが、この事実を知ったのは、翌朝9時半頃、東淀川警察署からの一本の電話だった。ローソン経営者は、何度か、しつこく被害を訴えていたようだ。山田さんによれば、5月26日、深夜一時頃、日常的に利用している、ローソンに買い物に行った際、店員の態度に問題があったことを注意した事が原因のようだ。山田さんは8000円程のウイスキーを

購入し、1万円札で支払ったそう。お釣りは千円札9枚と小銭。千円札が9枚ともなれば店員が数えるというのが一般的ではないでしょうか?と語る山田さん。ですが、その店員は、お札を数えることなく、山田さんを手渡したそうです。山田さんは仕方なく自分で千円札を数え、店員に、「こう注意したそうです。」「普通は、店員がお釣を数えるもんじゃありませんか?」大抵の店員なら、ここで話して終わりです。ですが、その店員は、山田さんの注意を、ニヤニヤとマスク越しに笑いなげら無視したそう。いくら温厚な山田さんも、これには勘弁できないと憤慨し、「責任者を出せ!」と声を荒げたそうです。そ

して山田さんが更に憤慨したのは、その店員が、セコムコールした事です。自分の態度を注意されているにも関わらずセコムコールです。これは、誰でも怒ります。その3分後には、セコムと警察管がやって来るといいます。その後、経営者が到着するやいなや、「クレームにも関わらず、常連の山田さんに声をかけ、謝罪するかと思えば、他のお客さんの迷惑なから、大きい声でしたらあかんわ」と3度も強要したそうです。山田さんは、毎日来てる客ですけどわかってますか?と

聞くと「もう、二度と来んといってくれるか?」本部に連絡しますよと言え「どこでも言うたらええがな」その代わりに「営業妨害で訴えたるからな」と脅迫する始末、こんモラルのない経営者との話の無駄と判断した山田さんが自転車で帰ろうとすると「飲酒やろ!」と吐き捨てたそうです。これがモラハラ経営者の実態です。その後、警察にしつこく客を訴え、警察にも相手にされなかつたようです。モラルが欠如したこの店舗に対し社会的制裁が下されるべくSNSでの配信も予定しているそうです。

LAW SON ローソン 東淀川 東中島 二丁目店

この事実を詳細に公開しています。
このPDFもダウンロード可能です。

WEB版はコチラ